



その後の基調講演では、帝京大学教育学部教授の赤堀博行様（元 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官）より、「道徳教育の本質～道徳科の特質を生かした授業の実際～」と題し、学校における道徳教育の充実や道徳科の授業改善の在り方について、お話しいただきました。

<基調講演の様子> 講師 赤堀 博行 様



午後の分科会では、参加者が3会場に分かれ、講師が各会場を巡回しながら、道徳科の授業づくりについての講義及び演習が行われました。

畿央大学教育学部教授の島恒生様（文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者）からは、「道徳科の意義や魅力について～目標から見たそのあり方を中心に～」と題し、道徳科の目標を踏まえた授業の在り方について、具体的に指導していただきました。



講師 島 恒生 様



演習の様子



上越教育大学上廣道德教育アカデミー 客員講師の齋藤眞弓様（文部科学省 学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業等協力者）からは、「道德授業の創り方～ねらい・主題・中心発問を中心に授業者は何をするのか～」と題し、ねらい・主題・中心発問を設定する際の考え方とともに、授業に生かせる指導技術についてもご指導いただきました。



講師 齋藤 眞弓 様



模擬授業の様子

上越教育大学上廣道德教育アカデミー 客員講師の小宮健様（前 上越教育大学上廣道德教育アカデミー 特任教授）からは、「多様で効果的な指導方法の理解と工夫」と題してご指導をいただきました。参加者は、小宮先生の模擬授業を通して、指導方法の効果的な活用や留意点について学びました。



講師 小宮 健 様



模擬授業の様子

終日、参加者は、講師の方々の講義に熱心に耳を傾けていました。また、各会場で行われる演習では、参加者から多くの発言が出されるとともに、参加者同士での交流も、活発に行われました。

大会終了後のアンケートでは、参加者から、「授業を創る上で大切なポイントがたくさん紹介されていて充実した学びでした。」「4名の先生方の講義を全て受けることができ、とても贅沢であり、どの講義も大変分かりやすく、勉強になりました。」といった肯定的な意見が多く見られました。これらの意見から、本大会が参会者にとって、充実した研修の機会となったことがうかがえます。